

放課後等デイサービス すまいるのーと 支援プログラム

作成日 令和7年7月1日

事業所理念	プログラミングにより想像力を鍛えて、子供たちの未来を創る創造力を育む。		
支援方針	5領域による総合的支援 また、プログラミングによる想像力と論理的思考を育む。		
営業時間	月～金10時30分～19時00分 土・祝日9時30分～18時00分	送迎実施の有無	有り
	支援内容(5領域)		
健康・生活	土曜日・祝日や長期休み中などに定期的なレクリエーションを企画し、外出による運動などにより身体的な健康を促進し、筋力や持久力、柔軟性を向上させるだけでなく、他者との関係を築く機会を提供します。さらに、多様なレクリエーションによりストレスや不安を軽減し、精神的な健康を支援します。これらの要素が組み合わさって、障がい児の生活全般にポジティブな影響を与え、より充実した生活を送るための基盤を提供します。		
運動・感覚	土曜日・祝日や長期休み中などに実施する様々なレクリエーションにより体を動かす機会をつくり、工作など手先を使うプログラムにより利用者の感覚統合を改善し、身体の動きと認知プロセスを結びつけることを支援します。また、昼食の前などに軽いストレッチやダンスの時間を設けることで利用者のストレスを軽減し、不安や抑うつを緩和する効果も狙います。		
認知・行動	1日のプログラムの中に工作の時間や実験の時間を設けることで利用者が様々な技法を試し、実践することにより脳の発達を促進し、注意力や集中力を向上させることができます。またプログラミング教育を行うことで思考力と認知能力を鍛え、未来予測などの能力の成長も促進させます。これらの要素が組み合わさり、障がい児の認知と行動の向上につながります。		
言語・コミュニケーション	自由時間に利用者同士で行えるボードゲームや工作や実験の時間をグループで行うことによって、利用者同士の会話などのコミュニケーションの機会を提供し、プログラミングの際、利用者同士が情報交換や各々のプログラミングを公開しあうことで利用者の言語能力や、コミュニケーション能力の成長を促進させます。		
人間関係・社会性	利用者が来所した際に今日の一日の流れをしっかりと説明することで、利用者の計画性などを向上させ、また、定期的にモルック大会を開催し、他の利用者や職員とチームを組みルールに沿ったプレイを行うことで利用者に自然と対人関係能力や、社会性が身についていくように支援します。		
家族支援			
送迎時やLINE等の連絡ツールを活用し、ご様子を丁寧にお伝えする ご家族の心配ごとなどに対して、適切な助言を行う			
移行支援			
学校等と連携をとり、移行に向けた準備、適切な支援を行う			
地域支援・地域連携			
学校、医療機関等との情報共有や連携、支援方法等に関する相談援助等の取り組み			
職員の質の向上			
毎日の職員ミーティング、定期的な職員会議等を実施、その他、外部研修に積極的に参加する			
主な行事等			
お正月、節分、ひな祭り、子どもの日、クリスマス会、など季節に合わせた行事を活動に取り入れる			